

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)泉大津車検センター	階数	地上1F
建設地	大阪府泉大津市青葉町2-1の一部	構造	S造
用途地域	準工業地域、第二種住居地域、準防	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,500時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年12月 竣工	評価の実施日	2017年8月1日
敷地面積	26,070 m ²	作成者	花谷 俊行/小林 学
建築面積	2,298 m ²	確認日	
延床面積	2,237 m ²	確認者	

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくこと、外観図等を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.7 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30%☆☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.5</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.7</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.9</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.8</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.8</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.6</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>自動車整備工場として必要な機能を持たせる</p>		<p>その他</p> <p>残土を搬出しない地盤設定を行い、資源使用量を削減する。 建設リサイクル法による届け出を行い、廃棄物の削減に寄与する。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>作業員に快適な環境を提供する</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>将来の改修に備えたフレキシブルな計画を行う</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>すでに地域に根差している工場の増築であり、企業イメージを大きく損なわないように計画する</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>既存工場と同等以上の効率化を図る</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>合理性を重視したプランニング、材料選定を行い、非再生性原材料使用量を削減する</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>関連法規に準拠し、環境配慮に努める</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0058

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)泉大津車検センター					
		建設地	大阪府泉大津市青葉町2-1の一部、7-1、63-4の一部					
		用途/区分	工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-		
	CO2削減					3		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.2	3	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	3		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					5.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					2.9	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					2.5	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					3.0	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	対象外
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								